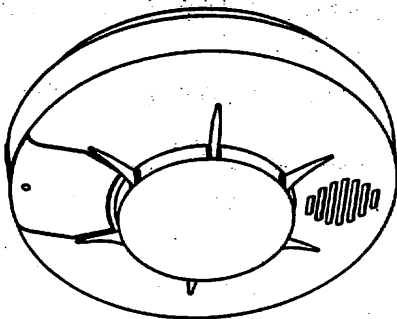


取扱説明書

住宅用火災警報器(煙式)



か な い あ ん ぜ ん
火無安全

KK-2LBC-5
KK-2LBC-5S (移報接点付)
(電池式、5年タイプ)

日本消防検定協会 鑑定合格品

お買い上げありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、
正しくご愛用の程お願いいたします。なお本取扱説明書はいつでも読
みただけのところに大切に保存してください。
この取扱説明書は保証書を兼ねています。

MAX

保証書

製品記号	KK-2LBC-5/5S
保証期間	1年間
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所
	お名前 様
	電話
販売店	住所・店名
	電話

MAX マックス株式会社

本社 〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

■東京 TEL (03)-3669-8123(代) ■大阪 TEL (06)-4803-1536(代)
■名古屋 TEL (052)-935-8531(代) ■福岡 TEL (092)-411-5418(代)
■広島 TEL (082)-291-6331(代) ■札幌 TEL (011)-261-7141(代)
●ホームページアドレス: <http://www.max-ltd.co.jp>

商品の概要

- ・この商品は、初期火災の煙をキャッチして警報音で知らせる住宅用火災警報器です。
- ・この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品です。(消防法に規定された「自動火災報知設備」には代用できません。)
- ・お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめします。

使用上の注意

- 本警報器は火災で発生する煙を警報音で知らせるもので、消火装置や火災防止器ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- この警報器は警報音をその場で発しますので、日頃、人のいない部屋に設置する場合は、警報音が聞こえるかどうか確認してから取り付けてください。また、次のような場合は警報音が聞こえないことがありますので、注意してください。
 - ・就寝中、薬を服用していた場合
 - ・酒を飲んで就寝した場合
 - ・ドアを閉めている場合
 - ・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合
- この警報器は煙をキャッチして警報音を発しますが、直接煙が入らない場合は作動しません。また、次のような場合は火災を感知できないことがあります。
 - ・火のまわりの早い火災
 - ・爆発的な火災
 - ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
 - ・煙の発生しない火災
- 本警報器は屋内型であり、屋外でのご使用はおやめください。
- 電池切れ時の場合は警報音は鳴りません。
- くんえん式殺虫剤など、多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、誤報や電池の消耗を防ぐため警報器を取りはずしてください。
- 殺虫スプレーなどを警報器に直接かけないでください。
- 警報器のすき間に針金などを差し込まないでください。
- 雨水のかかる場所、お風呂などのように高湿度環境または水蒸気の発生する場所には取り付けしないでください。

安全上の注意

この取扱説明書の中で使用している警告・注意表示などの基準は、下表の通りです。

警告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が重傷または傷害を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
注意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

特徴

本警報器は、初期火災で発生する煙をキャッチし、警報音で知らせる住宅用火災警報器です。火災発生時には「ピー、ピー、ピー」という警報音で火災の危険を知らせます。

■警報器の機器交換の目安は約10年

本警報器は電池で動いています。約10年間の機器交換の目安まで電池交換1回（電池交換期限は約5年）のみでご利用いただけます。（10年を経過した機器は、新しい機器と交換してください。）

■電池交換時期が近づくと警報音でお知らせします

電池交換時期が近づくと約40秒毎に「ピ」と鳴り、電池の交換時期をお知らせします。

■警報音により警報器の状態をお知らせします

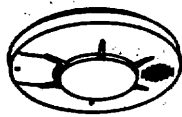
本警報器はテストボタンにより、作動の確認を行うことができます。

注意 ⚠	警報器が約40秒間隔で「ピ」鳴動したときは必ず警報器または電池を交換してください。
注意 ⚠	機器交換の目安を越えて使用すると、汚れなどにより内部に煙が流入しにくくなり、火災の発見が遅れる可能性があります。10年を経過した警報器は、電池交換をせずに新しい警報器と交換してください。

※電池交換期間の目安は約5年ですが、使用温度やホコリなど使用環境によって短くなる場合があります。

商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。



- ①警報器（1個）
- ②取付ベース（1個）
- ③取付ネジ（2本）
- ※出荷時に警報器に取り付いています。
- ④取扱説明書（本書）
- ⑤リチウム電池
- ⑥移報コネクタ（移報接点付きのみ）



各部の名称と働き

■取付ベース、取付ネジ

警報器を天井または壁に取り付けるために使用します。

■煙流入口

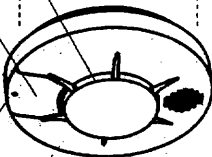
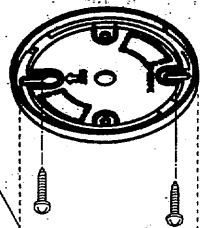
ここに煙が入ることにより警報器が煙を感知します。

■警報音停止、テストボタン

- ・警報音「ピー、ピー、ピー」を止めたい時 ボタンを押してください。
 - ・テストをしたい時 ボタンを押してください。
- 警報音により状態をお知らせします。

■ひも用穴

市販のひもを取り付けることができます。取り付けたいひもを引くことで、警報音の停止やテストができます。



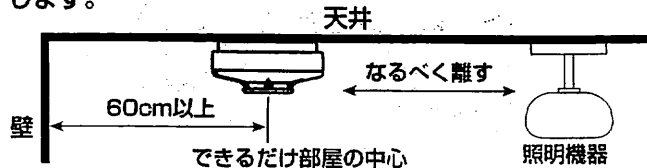
警報器の取り付け場所

■この警報器は次のような場所への設置をおすすめします。

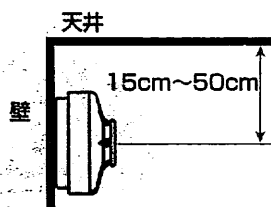
- ・寝室
- ・特にお年寄りや小さなお子様がお休みになっている部屋
- ・階段や廊下、居室、台所

■警報器のテストボタン（警報音停止ボタン兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。

■天井面に取り付ける場合は壁や角から水平距離60cm以上離します。



■壁面に取り付けるときは天井面下15cmから50cmまでの範囲で部屋の中心に取り付けてください。テストボタンが下になる方向に取り付けてください。



■警報器は必ず正しい取り付け場所に取り付けてください。

⚠ 次のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因になり、正常に火災を警報できません。

次のような場所には取り付けないでください。

暖房器具の近くなど、
可燃性粒子の発生する場所
水蒸気が発生する場所

常時、温度や湿度の高い場所

空気の流れが激しい場所
・換気扇や扇風機、エアコンの近く
・すきま風の強い所

ほこりや虫の多い場所

車庫や排気ガスの発生する場所

- ・警報器は0℃～40℃の温度範囲内の場所に取り付けてください。
- ・居室の場合は部屋の中心になる位置に取り付けると効果的です。
- ・二階がある場合は、二階の階段の降り口の天井面付近に取り付けると効果的です。

警報器を取り付ける前に

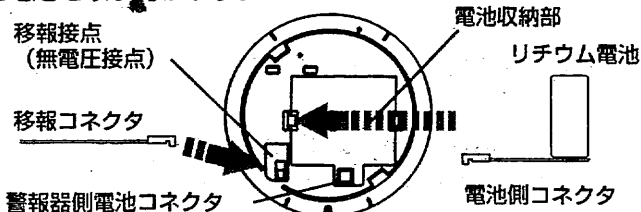
■警報器と取付ベースを外します。

・取付ベースを押さえ、警報器を左に回して取り外してください。

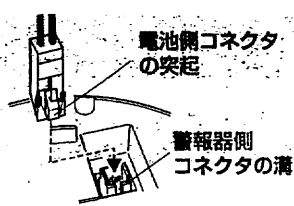
左へ回す



■電池を取り付けます。



- ・電池側コネクタと警報器側電池コネクタを接続してください。
- ・警報器の裏面にある電池収納部に電池を納めてください。



図のように電池側コネクタの突起と警報器側電池コネクタの溝をあわせて、しっかりと接続し電池収納部に電池を納めます。

■移報が必要な場合は、移報コネクタを取り付けます。
(移報接点付きのみ)

- ・移報接点に、付属の移報コネクタを接続してください。
 - ・移報コネクタの末端を接続機器の配線に圧着してください。
- ※移報接点に極性はありません。(接点容量 DC50V、100mA)

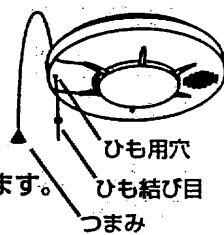
警告	電池は必ず指定のものをお使いください。 (指定以外のものを使用すると、故障の原因になります。指定電池：CR17450-R (1本))
警告	コネクタをしっかりと接続し、電池を正しく収納してください。正しく接続されていない場合、警報器が作動せず、警報音が鳴りません。 (電池を取り付けた後には必ずテストボタンを押して作動確認を行ってください。)

■警報音停止ひもの取り付け方

・本警報器に市販のひもを取り付けることにより、警報音停止やテストが行えます。

- ①ひもを適当な長さで切り取ります。
- ②ひもに結び目を付けひも用の穴に通します。
- ③ひもの先端につまみを取り付けます。

※ひもおよびつまみは市販品を使用してください。



注意	ひもを引く際、必要以上の力で強く引き続けしないでください。ひもが切れたり、警報器が落下しけがをする可能性があります。
-----------	--

警報器の取り付け方法

次の手順にしたがって警報器を取り付けてください。

警告	警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。 転倒してケガをするおそれがあります。
-----------	--

■設置年月を記入してください

警報器本体に貼付している、設置年月シールに年月を記載してください。

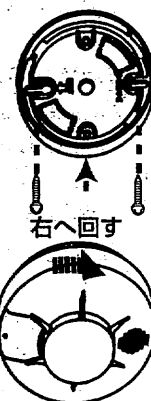
■天井に取り付ける時

手順①

天井面の梁などが通っている場所に、取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

手順②

警報器の底面部を取付ベースに当て、警報器が止まるまで右にまわしてください。



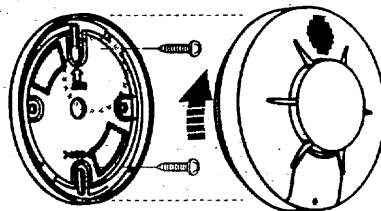
■壁に取り付ける時

手順①

壁面の柱などが通っている場所に、向きを間違えない様に(矢印を上にする)取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

手順②

警報器の警報音停止、テストボタンが下になるように取付ベースと合わせ、止まるまで右に回してください。



■壁に掛けて取り付ける時

手順①

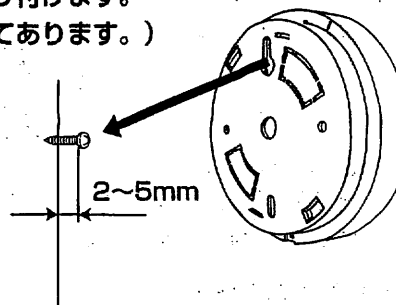
感知器と取付ベースを取り付けます。
(製品出荷時は取り付けてあります。)

手順②

取り付けネジを壁の途中までねじ込んでください。
(ネジ頭と壁の間が2~5mmの範囲になるまでねじ込んでください。)

手順③

取付ベース背面にある取り付け穴に、ネジ頭を引っかけてください。



お手入れ方法

- ・毎年1度は、中性洗剤を浸して十分に絞った布で警報器の汚れを拭き取ってください。この際、煙流入口に触れないように注意してください。

警告	警報器を水洗いしないでください。 また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。
注意	警報器を改造、分解しないでください。警報器は精密に調整されていますので、正常に作動しなくなる恐れがあります。

テスト方法

- ・取り付け後は定期的に(1ヶ月に1度)テストボタンを押して、警報器が正常に作動するかテストしてください。
正常な場合、「ビビ、ビー、ビー、ビー」と警報音が鳴ります。警報器が正常でない場合は、「ビビ、ビビビビビ」と警報音によりお知らせしますのでお買い上げの販売店までご連絡ください。
- ・3日間以上留守にされたときは、警報器が正常に作動するかテストしてください。
- ・煙を直接入れて試験を行い、警報音停止ボタンにより警報音停止をしたときは、約5分間テストができなくなります。

警告	・テストの時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。
注意	・テストや警報音停止でボタンを押すときは、安定した台に乗っておこなってください。 転倒してケガをする可能性があります。



電池の交換・警報器の破棄について

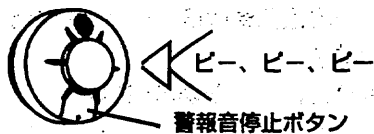
警報音が「ビ」と40秒間隔で鳴動し、機器交換の目安(10年を過ぎていない場合は、新しい電池と交換してください。電池は市販されておりませんので、新しい電池のご購入は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

電池型名：CR17450E-R (1本)

この警報器を廃棄する際は、市町村によって定められたルールにしたがってください。(電池はリチウム一次電池を使用しており、水銀は含まれていません。)

警報器が作動したときは

煙を感知すると次のように警報音でお知らせします。
「ピー、ピー、ピー」



■火災の時

火元を確認し、119番へ連絡するなど適切な処置をしてください。避難してください。

■火災でない時

火災以外でも、次のような場合、警報をすることがあります。警報音停止ボタンを押すか、室内を換気すれば警報が止まりますので、警報器を外したり、電池を抜いたりしないでください。

- ・スプレー式殺虫剤や、ヘアスプレーなどが直接かかった時。
- ・たばこの煙を警報器に吹きかけた時。
- ・調理の煙や水蒸気などが警報器にかかったとき。
- ・線香や蚊取り線香などの煙を発生させたとき。

警告	警報音が「ピー、ピー、ピー」と鳴動した時、電池を外さないでください。警報停止ボタンを押すかまたは引きひもを引くと、警報音は止まります。
	煙流入口に煙が残っている場合は約5分後に再び警報音が鳴ります。換気などを行うことにより警報音は自動的に止まります。

警報音の停止方法について

■警報音が「ピー、ピー、ピー」と鳴動しているとき

警報音停止ボタンを押してください。5分間警報音が停止します。約5分後に再度警報音が鳴動する場合は、団扇などで風を送り、煙を排除してください。



■警報音が「ビ」と約40秒間隔で鳴動しているとき

機器交換の目安(10年)を過ぎていない場合は、新しい電池と交換してください。機器交換の目安を過ぎている場合は、新しい警報器と交換してください。

警報音は電池コネクタを抜くことによって止まりますが、コネクタを抜いた警報器は絶対に取り付けられないでください。新しい警報器・電池のご購入は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

仕 様

型 名	KK-2LBC-5	KK-2LBC-5S
種 別	住宅用火災警報器	
鑑定型式番号	鑑ケ第16~12号	
感知方式	煙感知方式(光電式2種)	
定 格	DC3V、50mA	
電 源	リチウム電池(CR17450E-R(1本))	
電池交換期限	※ 約5年間	
機器交換の目安	※ 約10年	
試験機能	自己診断機能	
音 量	1mにて70dB以上	
外形寸法	φ110mm×48.5mm	
警報器質量	約150g(電池約25gを含む)	
移報端子接点容量	移報端子なし	DC50V、100mA
使用温度範囲	0℃~40℃	
復 旧	自己復旧方式	

※機器交換の目安は使用温度環境などによって短くなる場合があります。

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな?と思ったら

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。下記の対処を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

症 状	原 因	対 処
「ビ」と約40秒間隔で警報音が鳴る。	電池交換時期または警報器の感度劣化です。 電池交換期限は約5年間ですが、使用温度やホコリなどの外部環境により短くなる場合があります。	機器交換の目安(10年)を過ぎていない場合は、新しい電池と交換してください。 機器交換の目安を過ぎているか、電池を交換しても復旧しない場合は、新しい警報器と交換してください。 新しい警報器・電池の購入は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
テストをした時に「ビビ、ビビビビビ」と鳴る。	警報音停止状態になっています。	約5分後、再度テストボタンを押してください。
テストをした時に「ビビ」と鳴る。	電池が接続されていません。	電池コネクタが正しく接続されているか確認してください。
テストボタンを押しても警報音が鳴らない。(または引きひもを引いても同様)	電池が接続されていません。	電池コネクタが正しく接続されているか確認してください。
火災でないのに警報音が鳴る。	火災以外の煙(ホコリ、殺虫剤等)を警報器がキャッチしています。	警報音停止ボタンを押すか、警報器内の煙がなくなるまでお待ちください。また、火災以外で警報音が多発する場合は、取り付け場所を変えてください。

アフターサービスについて

1. この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1ヶ年です。万一故障した場合は、内部機構を触らずにお買い上げの販売店に修理をお申し付けください。保証規定により修理をいたします。
3. アフターサービスについてご不明の場合、その他当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店がマックス株式会社にご連絡ください。

保証規定

1. 保証期間は、お買い上げ日から1ヶ年といたします。
2. 通常のお取り扱いにおいて、保証期間内に万一故障した場合の修理は無償でいたします。
3. 保証期間内においても、次のような場合は修理料金をいただきます。
 - イ) お取扱上の誤りによる故障または損傷
 - ロ) 不適当な改造や修理による故障または損傷
 - ハ) お引渡後の輸送、移動、衝撃による故障または損傷
 - ニ) 水害、地震、落雷など天災による障害
 - ホ) 保証書を紛失またはご提示のない場合
 - ヘ) 保証書の所定事項の記載もれ、または字句を書き換えられた場合
4. 保証期間が経過したとき、または保証の適用除外故障でも修理が可能な場合は修理いたします。この場合は実費を負担していただきます。